

GAOT

Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第127号 2017年1月発行

巻 頭 言

『而立』の歳を迎えて

一般社団法人群馬県作業療法士会会長

新井 健五

(ミドルホーム富岡)



『而立』と書いて「じりつ」と読む。30歳の異名である。40歳の異名として知られる「不惑」が、論語の「四十不惑(四十にして惑わず)」に由来することを考えれば、『而立』が「三十而立(三十にして立つ)」という言葉に由来するものであることがわかる。

じつは、「立つ」とは“学問的に”独立する”という意味である。もう少し砕いていうと、自分なりの考え、すなわち自説・自己見識をまとめることができ、それをしっかりと自分のバックボーンとして持てるようになることが「立つ」ということなのだ。つまりは、アイデンティティを持てるようになるということが『而立』なのである。もって、“精神的に”自立できるようになるという意味でもある。

みなさんご存知のことと思うが、当会は昨年度(平成28年度)末をもって30周年を迎えた。そして年末には創立30周年記念式典も開催させていただいた。まさに『而立』の歳を迎えたのである。大変めでたいことではある。しかし、はたして『而立』できているのかと自問すれば、“めでたい”との認識でよいのだろうかと思えてならない。

年末に職場の書棚の掃除をしていると、ふと2008年の「ぐんま作業療法研究Vol.11」が目にとまった。見れば、巻頭言は私が書いている。タイトルは「『作業療法』生き残りのために」。若い頃から傾倒していたマネジメント学の巨人 Peter.F.Drucker のマネジメント理論をベースに書いたものだ。そこでは、「専門職」という者は常に3つの視点で社会(時代といっても良いだろう)から評価されていることを説明している。①強みは何か? ②何を期待してよいか? ③どのような情報を出してくれるか? である。われわれ作業療法士も、この3点を常に意識し、追求(追究)し、実践し、発信していかなければいけないことを私なりに説いたものだ。改めて読むと、この3点こそ自説・自己見識、すなわちアイデンティティであることに今さらながら気づく。これがしっかりと持てる(言える)ようになれば、学問的な自立だけでなく、精神的な自立もできよう。これこそ『而立』だ。

こう考えてみると、『而立』とは単なる歳(年数)の問題ではないことに気づかされる。『而立』の歳を迎えて、さらに、今後本当の意味で『而立』できるようになるために、そして、もって将来「不惑」の境地に至れるようになるために、われわれ一人ひとりが改めてこの3点にしっかりと向かい合わなければならないと思う。そして、ぜひそうあって欲しいと願う。そんなことを痛切に感じた年の瀬であった。

第2回北関東信越ブロック学会 (第19回群馬県作業療法学会)を終えて

実行委員長 藤井 洋有
(公立藤岡総合病院)

平成28年12月3日、12月4日に、第2回北関東信越ブロック学会(第19回群馬県作業療法学会)が開催されました。大きな事故もなく終えることが出来、ほっとしているというのが現在の気持ちです。関根学会長、小田事務局長、準備・運営に関わって頂いた全ての実行委員の皆様、講師・座長を引け受けて頂いた先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。頼りない実行委員長を支えて頂き、本当にありがとうございました。

さて、北関東信越ブロック学会は、茨城、群馬、栃木、長野、新潟県の作業療法士会の交流と発展を目的とした学会であり、群馬県では初めての開催でした(五十音順で各県士会の持ち回りです)。今回は、2日間で合計438名(内、他県士会員は44名)の参加がありました。演題は41演題(内、他県士会員による発表は13演題)、懇親会は43名(内、他県士会員は11名)の参加でした。

内容としましては、「生活行為の向上を支援する作業療法ー生活・地域・連携ー」をテーマに、1日目は、山口智晴先生の公開講座「認知症地域ケアの最前線」、生活行為向上マネジメント事例検討会、ワークショップでは平石武士先生の「脳血管障がい者の自動車運転支援」、遠藤真史先生の「精神障がい者の地域生活支援」、北爪浩美先生の「特別支援教育における作業療法士の役割」等、昨今の作業療法士を取り巻く状況を踏まえたプログラムを組ませて頂きました。どの講演も好評であり、講演後も参加者の熱心な質問や情報交換に対応されている講師の先生の姿が印象的でした。2日目のシンポジウムでは、新井健五先生を座長とし、尾池久美子先生(群馬県介護高齢課、保健師)、小沼説雄先生(群馬県介護支援専門員協会理事)、田中志子先生(内田病院理事長、医師)をシンポジストとしてお招きさせて頂きました。シンポジスト全員が他職種であり、それぞれの立場から、特に地域包括ケアシステムの中での作業療法士への期待と課題を述べて頂きました。中村春基先生の特別講演でも同様に、作業療法士が地域で活躍する重要性について熱いメッセージを頂きました。参加者にとっては、今後の臨床への活力になったのではないかと思います。

学会の準備は1年以上前から開始しました。正直、楽な道のりではなく、「仕事・家庭との両立」といった点では非常に悩みました。私の未熟さ故に、実行委員・職場の皆様・家族には大変苦勞をかけたと思います。また、北関東信越ブロック県士会への広報や主催県士会以外の参加者の獲得は、今後の課題として残ると考えております。

今回の学会がこれで完結するのではなく、次の第3回北関東信越ブロック学会(栃木県士会主催)へと、より発展していくことが大切であると感じております。この学会を通して出会った他県・他施設・他職種の方とは、共に支え合う「素敵な仲間」として、これからも繋がっていければと思っております。



群馬県作業療法士会

ブロック支部組織強化計画の概要について

第3回

担当理事 長谷川 明洋
(群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部)

【第3回】

前回、前々回の県士会ニュースで、ブロック支部組織強化の基本方針とブロック水部の機能と役割、事業内容についてご説明をしました。

最終回の第3回では、本事業をどのように準備を進めてきたのか、また今後の行動計画はどのようになっているのかをお示したいと思います。

【行動計画策定までの経緯】

- ① 平成27年新井会長より、ブロック支部組織強化の取り組みを具体的に進めていく方針を打ち出されました
- ② 平成27年度群馬県作業療法士総会 事業計画において、会長からの総合的運営方針の中で、ブロック支部機能を高めることという課題を提示とともに、ブロック支部組織強化担当理事を新設し、長谷川(群大病院)がその役を担うこととなりました。
- ③ ①、②を受けて、H27年度理事会で、ブロック支部組織強化の計画を策定、承認

【行動計画について】

ブロック支部組織強化 行動計画(2015年度～2016年度)

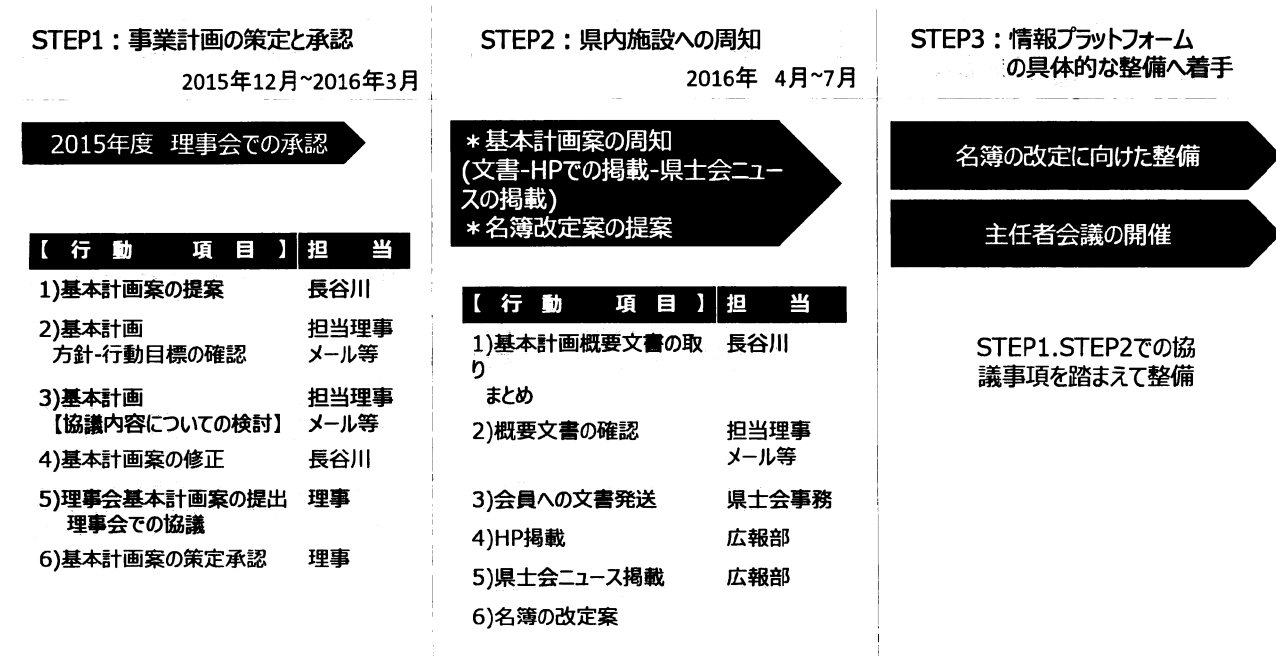


図1に示しました通り、平成27年度28年度においては、事業計画の立案及び基本計画案について会員の皆様に周知することが中心の活動展開となっております。

今年度初めて、群馬県の作業療法士の代表者主任者会議を開催いたしました。ブロック組織強化においては、代表者、責任者の方々の協力が必須であり、本会議においても新井会長をはじめ理事の方から説明をいたしました。

また、本年度より、会員名簿に連絡先担当者の明記と任意で施設メールアドレスの掲載をいたしました。このことにより、施設間での連携がとりやすくなったとの声を多数いただいております。

【ブロック支部強化事業の現在までの動き】

- H27.09.02理事会 …… ブロック支部強化計画の策定について提案
- H27.12.02理事会 …… 各理事にブロック支部強化計画案の提出・承認
- H28.02.24 理事会 …… ブロック支部強化計画事業として、名簿改定・主任者会議の開催を提案
- H28.04.27理事会 …… 名簿改定に関する公文書の発送と具体的な作業について報告
- H28.05 …… 名簿改定作業の開始。第1回主任者会議開催の日程調整
- H28.06 …… 主任者会議開催案内、施設長宛て公文書の発送。
- H28.07 …… 名簿改定を終える
- H28.08 …… 会員名簿の発送
- H28.09.26 …… 第1回群馬県作業療法士会 代表者主任者会議

【平成29年度の事業予定】

平成29年度は、ブロック組織強化の取り組みをさらに進めて参ります。

主な取り組みとしては以下の5項目です。ブロック支部組織強化は会員の皆様のご協力を必要としております。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

① 会員間の連絡ツールの充足

H29年度名簿改訂をいたします。

連絡先メールアドレス掲載の必須化に向けた活動を行います。

メーリングリストの構築に向けた準備をいたします。

② H29年度主任者会議の開催

代表者主任者の連絡交流の場を設け、活発な交流が行えるような、企画を検討しております。

③ 会員の雇用実態調査の実施

詳細は4月頃に説明案内文書の送付を行う予定です。

会員の雇用状態の改善に役立てられる情報提供をしていきたいと考えております。

④ 地区ブロック単位での連絡担当者会議の開催企画

平成29年年度会員名簿メールアドレスの掲載のお願い

来年度についても、名簿に連絡先担当者及び、施設メールアドレスの掲載を予定しております。
詳細は平成29年5月頃に依頼書を発送いたします。
ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

よくあるご質問(FAQ)

Q.施設メールアドレスの掲載をした場合どのような事に用いるのですか？

A.一斉メール配信では主に研修会の案内や協会からの連絡事項などの情報提供を行います。
その他、施設代表者への個別の連絡事項がある場合などに用います。

Q.アドレスの変更を行いたい場合はどうすればよろしいでしょうか？

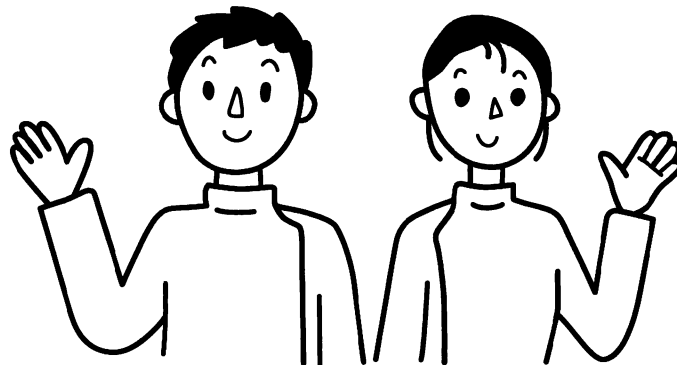
A.県士会事務局までご連絡ください。
連絡先:ot-gunma@mountain.ocn.ne.jp

Q.携帯アドレスでも可能ですか？

A.携帯アドレスの登録はお勧めできません。
施設でのアドレスの割り当てがない場合は、Gmail、yahoo mail等のweb mailを取得される
ことをお勧めします。

Q.一斉メール配信をしたいのですが、どのように行えばよいでしょうか？

A.県士会事務局までご連絡ください。ブロック担当理事より一斉メール配信をいたします。
連絡先:ot-gunma@mountain.ocn.ne.jp



「ゆとりと笑顔のある暮らし」お届けします

福祉用具販売

健康維持やより安全・便利にする用具をご提案します。

福祉用具レンタル

各種介護保険レンタル用具を取り扱っております。

住宅改修

介護知識を持った建築士「住環境プランナー」がお伺いします。手すり1本から保証書を発行いたします。



介護のことなら何でもご相談ください



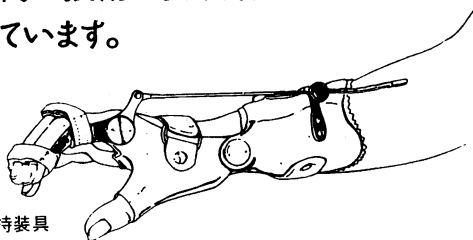
パナソニックエイジフリー介護チェーン ベルシャイン

〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町803番地1 TEL 0270-62-8189 / FAX 0270-62-8110

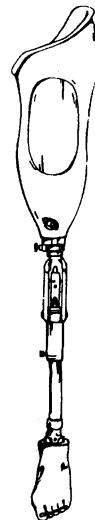
精緻さを力へ。乗り越える、支える力へ。

わたしたちは、常に現場の声に耳を傾け、患者さんひとりひとりに合った製品をお届けすることそして、新しい技術に挑戦し続けることを使命としています。

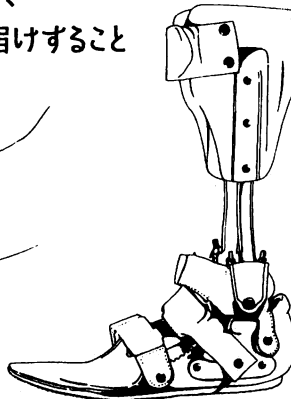
■ 把持装具



■ 座骨収納型骨格式大腿義足



■ プラスチック短下肢装具



(社)日本義肢協会会員
ISPO会員
日本義肢装具学会会員
バイオメカニズム学会会員
先端医療技術研究会会員
技術研究組合医療福祉機器研究所組合員

取扱い／義肢・装具全般、補助具、車いす

お問い合わせは

株式会社 高崎義肢

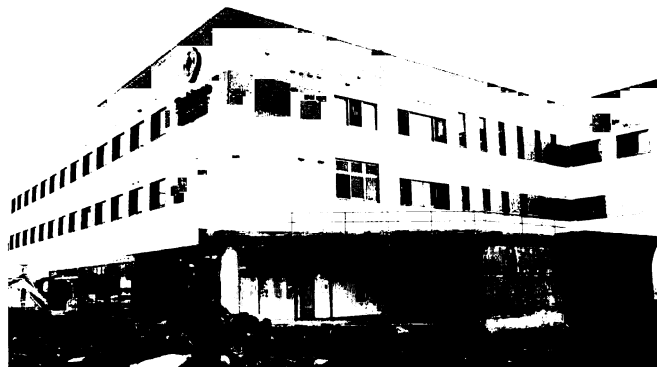
〒370 群馬県高崎市井野町1235
☎0273(61)2074(代) 振替・長野5-14820
FAX 0273(62)6170

施設紹介

月夜野病院

当院は、平成28年10月1日より旧病院から引っ越し、新病院での診療を開始しています。当院は、周りを三峰山や谷川岳など多くの山々や利根川に囲まれた位置にあり、とても自然に富んだ環境です。リハビリ室がある3階からは周囲の景色を一望することができるため、患者様・スタッフ共に気持ち良くリハビリを行うことができます。

当院は、病床数72床、うち回復期リハビリテーション病棟40床、一般病棟32床となっています。このたび新病院での診療を開始するにあたり、新たに回復期リハビリテーション病棟を開設しました。また、通所リハビリテーションも開設しました。リハビリスタッフは、理学療法士9名、作業療法士3名、言語聴覚士1名、助手2名となっています。また、月夜野病院グループでは介護老人保健施設りんどうの里、特別養護老人ホーム西峰の郷、月夜野の里デイサービスセンター、小規模多機能月夜野の里、訪問看護ステーションさくらんぼ、ヘルパーステーションさくらんぼ、有料老人ホーム花水月といった関連施設が充実しており、入院から施設入所、在宅支援など幅広いサービスを展開し、地域の皆様が自分らしく生活できるように援助するよう努力しています。



※改築中!!



作業療法部門は、今年度より3名の体制で行っています。新病院開設にあたり、サンディングボードや昇降テーブルなどのリハビリ機器、大きな和室やキッチンなどのADL設備、陶芸用の電子炉や革細工、木工用具などの作業活動の道具も多く導入され、様々な視点から作業療法を実施できるようになりました。主な対象疾患は、脳卒中、上肢・下肢の骨折の術後や胸椎・腰椎圧迫骨折などの整形外科疾患、肺炎など内科系疾患による廃用症候群などです。回復期リハビリテーション病棟開設からまだ間もないですが、試行錯誤しながら病棟スタッフとの連携を図り、その人らしい生活を送れるようアプローチを行っています。また、患者様が退院されてからも外来リハビリテーションや通所リハビリテーションでの介入を行ったり、時には訪問看護と同行してリハビリ指導を行ったりなど、より在宅での生活に即した援助をできるよう心がけています。臨床中は笑顔が飛び交い、とても明るく雰囲気の良い職場になっていると思います。

地域の皆様になくはならないようリハビリ室を目指してスタッフ一丸となっていきます。よろしくお願いいたします。

理学療法士が夢実現に向け創めた施設

訪問看護ステーション・デイサービス 利用者増のため、リハスタッフ急募!!

充実した設備や環境で、リハビリ業務に取り組みます。
経験の浅い方や子育て中の方、大歓迎です。
頑張りたいあなたをしっかりと応援する会社です!!



業務内容	訪問または通所でのリハビリ業務
職種	PT・OT・ST（未経験者も歓迎）
給与	常勤 月給 230,000円～ パート 時給 1,800円～
勤務時間	常勤 8:30～17:30（休憩60分） パート 週1回・3時間以上から応相談
休日	土・日・祝日（12/23を除く） 夏季・年末年始休暇 年間120日以上
待遇	社会保険加入、有給休暇（入職日付与） 研修費補助、各種手当（訪問、通勤等）



株式会社ドリーム
訪問看護ステーション・デイサービス

〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美2105-16
URL <http://www.dreamcare.co.jp/> ☎ info@dreamcare.co.jp

☎0277-47-6355 採用担当：PT藍原
お気軽に電話、メールにてお問合せ下さい

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した…などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス：reha@fukushima-hospital.com

広報部・ニュース編集グループ
伊勢崎福島病院 吉澤 一郎

県士会ホームページアドレス

www.gunma-ot.com

編集後記

冷たい風吹く冬の寒空に星を眺めると学生時代、先輩に場末の焼肉屋へ連れて行ってもらったのを思い出す。
兎にも角にも食えということである。何人前もの肉を平らげながら、ビールで何度も乾杯をし、壁に掛かったお品書きのサーワは端から順に注文して呑み干してゆく。旨いが見つらい。文句を言うと叱られるので限界まで臨む。悔しいが醜態を晒すこととなるのだが「気取ってないで本性見せる。」という彼の狙いであったのかもしれない。べろんべろんに酔って店を出るころには歩くのがやっとであった。酔った先輩は一言発する度に私の頭をバシバシ叩き、男泣きしながら私の入部を喜んでくれた。自分も酔って千鳥足なのに私の自宅まで送り、ご丁寧に布団まで敷き、突如正気な面持ちで「風邪など、ひかぬように。」と静かに言って深々と頭を下げ、帰って行った。彼はちっとも酔っていなかったのである。

聞けば彼は苦学しており、アルバイトも掛持ちをするほどであった。そんな人から度々奢ってもらう訳にはいかない。次こそは断ろうとすると、「俺もそうして貰った。お前も後輩が出来たら同じようにしてやればいい。」脈々と受け継がれてきた伝統と説明された。

年に一度、先輩後輩が集まり母校のラグビー観戦をすることになっている。卒後20年にもなるとどちらが年長者なのか分からない風貌になっている。明らかに後輩の方が羽振りの良い職に就いていることもある。しかし、先輩後輩の役割は今も変わらず続いている。互いに何とも心地良いのだ。

(Y)

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 吉澤 一郎 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、反町 拓海、下田 幸 印刷 || 星野印刷株式会社